

東武動物公園に新アトラクション来春オープン ドイツメーカー最新機種ドリフター 日本初上陸 プロドライバーのドリフトスキルを再現

東武動物公園（東武レジャー企画(株)、埼玉県宮代町、取締役社長：石附栄一）では2023年3月のドロップツイスト、2025年3月のサンダーエクスプレスに続き、2026年春に新アトラクション「ドリフター」を新設いたします。

ドイツの遊園地機械メーカーZIERER社が開発した最新の遊戯機種で、5月に初めてフィンランドで新設され、今回、日本で初めての導入となります。

2024年5月に営業終了となったミュージックエクスプレスの敷地に新設予定で、中央の塔の周りには9台のカートが配置され、レバー操作をすることでプロのドライバーのようなスリリングで斬新なドリフトスキルが体験できるアトラクションとなっています。

緩急をつけた想像以上のアクションがポップコーンを焼いているような迫力を彷彿とさせ、子どもから大人まで幅広い年齢層のお客様に無邪気にはしゃいで楽しんでいただけるよう、中心部の外装には従業員がデザインしたポップコーンが描かれます。また搬器下には電飾を取り付け、夜間時には近代的な演出を表現します。

■ドリフター概要（2026年3月導入予定）

定員	2人×9台（18人）
作動時間	80秒
利用制限	<u>1人利用</u> 身長130cm以上の8歳から <u>保護者同伴</u> 身長100cm以上の4歳から

※完成イメージ



※ミュージックエクスプレス跡地に新設予定



※料金、その他詳細は決定次第お知らせいたします。
※掲載内容は予告なく変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

【東武動物公園概要】

所在：埼玉県南埼玉郡宮代町須賀110

開園日：1981（昭和56）年3月28日

敷地面積：約54ha 動物園：約120種類・約1200頭 遊園地：約30種類の遊戯施設